ホームページ http://6seiwith.sakura.ne.jp/

# ウイズレター WITH LETTER

編集・発行：ウイズを支える会 Vol. 41 2017. 8. 28

ウイズ半田●〒431-3124 浜松市東区半田町104-3／TEL 053-435-5225／FAX 053-435-5955／E-mail：with@s8.dion.ne.jp
ウイズ蜆塚●〒432-8018 浜松市中区蜆塚1-9-12／TEL 053-489-5560／FAX 053-489-5561／E-mail：with-shijimi2008@ab.auone-net.jp

## 第23回白杖づくり体験合宿
### 7名の方にご参加いただきました！

材料

道具

完成

## 仕事と活動

NPO法人六星 代表理事 斯 波 千 秋

ウイズの運営・経営主体は特定非営利活動法人（NPO法人）六星です。（法人名六星は、日本点字の父、浜松出身の石川倉次氏の揮毫した「六星照道」六ツの星―点字―が、視覚障害者の生きる道を照らす、から）

市民の立場でより良い社会を創ろうという活動に対して社会より法人格を認められた市民団体です。NPO法人六星は障害のある人達の社会参加と自立を支援するという福祉活動を切り口に社会に提言し、福祉を実践し、評価を受け、必要な時に必要な事業を法制化し、税金の流れを作ることもします。

ウイズに通う一人ひとりの社会参加と自立、そして社会の中で平等に生きる事を共に考え実践することで、その後ろに存在する数十倍の、社会にそして福祉に繋がらない障害のある人達の「生きる」ことに触れることで個々の課題を掘り起こすことが出来ます。障害はその人の生活する周囲・環境の問題です。環境を変化させることにより、障害が軽減、もしくは解消することができます。

私達は常々市民の目線で、環境の中で生きるその人の目線で共に考え、悩み、掘り出された課題の解決に尽力しています。ウイズという拠点があり、楽しくも着実な活動を続けることで他の社会資源と連携し、全ての人達が安心して生活できる社会環境を作るという大切な市民活動を展開できるのです。

与えられた仕事ではなく、市民目線で未来を切り開く活動をすることにウイズの存在価値があるのです。

# 第22回ウイズを支える会 総会報告

第22回ウイズを支える会総会が4月15日(土)午後1時30分から福祉交流センター大広間にて行われました。今年も市内外から46名の出席があり、柴田会長から会員の皆様に対して、日ごろのご協力への感謝の挨拶がありました。

その後、静岡県手をつなぐ育成会の小出隆司会長と、浜松市視覚障害者福祉協会の市川健悟会長より来賓のご挨拶をいただいた後、平成28年度事業報告、決算報告、29年度の事業計画、予算案が承認されました。

(平成28年度決算報告は下記のとおりです)

## 「ウイズを支える会」平成28年度 決算報告

収入の部 (単位：円)

| 科目 | 28年度予算 | 28年度決算 | 増減 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 会費 | 820,000 | 657,510 | △ 162,490 | 28年度 29年度 |
| 寄付金 | 1,900,000 | 1,439,710 | △ 460,290 | 団体、一般 |
| 雑収入 | 6,518 | 15 | △ 6,503 | 利息 |
| 繰越金 | 1,273,482 | 1,273,482 | 0 | |
| 合計 | 4,000,000 | 3,370,717 | △ 629,283 | |

総収入額 3,370,717円　残高1,615,435円は次年度に繰越します。
総支出額 1,755,282円　以上　ご報告致します。
残　高 1,615,435円　ウイズを支える会　会計　金原せい子

上記報告に基づき出納簿、預金通帳の監査をした結果、相違なく、適正な会計と認めます。

平成29年4月10日　ウイズを支える会
会計 監査　山崎三郎／鈴木修一

支出の部 (単位：円)

| 科目 | 28年度予算 | 28年度決算 | 増減 | 摘要 |
|---|---|---|---|---|
| 事務費 | 15,000 | 6,034 | △ 8,966 | 事務費 他 |
| 印刷・製本費 | 450,000 | 490,742 | 40,742 | ウイズレター(39、40号)印刷 |
| 通信費 | 200,000 | 167,126 | △ 32,874 | 郵送料 |
| 助成費 | 300,000 | 220,000 | △ 80,000 | マレーシア研修支援 他 |
| 会議費 | 100,000 | 82,410 | △ 17,590 | |
| 慶弔費 | 100,000 | 40,000 | △ 60,000 | |
| 事業費 | 1,500,000 | 0 | △1,500,000 | |
| 雑費 | 135,000 | 48,970 | △ 86,030 | 総会 |
| 施設拡充基金 | 1,200,000 | 700,000 | △ 500,000 | |
| 合計 | 4,000,000 | 1,755,282 | △2,244,718 | |

# 寸劇を通して「発達障害・知的障害」を学ぶ

## ～浜松市手をつなぐ育成会キャラバン隊の寸劇・ワークショップを開催～

わかりやすい公演ありがとうございました！

総会終了後、15時30分より約1時間、浜松市手をつなぐ育成会のキャラバン隊8名によるワークショップを開催しました。親御さんが、障害のあるお子さんの役に扮してわかりやすく演じたり、手袋をしてシャツのボタンを留める体験をしたりと、言葉では理解しているつもりでも、体験することで気づく困難さ、もどかしさがたくさんありました。視覚障害の方にどのように伝えるか、事前準備からいろいろと工夫をしてくださったキャラバン隊の皆様、ありがとうございました。

**(蜆塚スタッフ　古橋)**

## ★「ウイズを支える会」への入会のご案内★

「ウイズを支える会」では、会の目的に賛同し、継続的にご支援下さる会員を募っています。
**年会費は個人会員1口2,000円、団体(法人)会員1口10,000円**といたします。

口座名 「ウイズを支える会」　郵便振替口座　00820-5-71197

## 近況報告 〈ウイズ半田〉

サービス管理責任者 **金谷淳子**

浜松市中心部から北へ車で約20分、郊外にあるウイズ半田の周辺はまだ田んぼや畑が多く、緑あふれる田園地帯です。とはいえ、ここ数年でこの辺りも農地から住宅地へと、少し風景が変わってきました。新しいご近所さんが増え、お子さんの元気な声が多く聞こえるようになりました。

半田では開所当時より支援者の久米さんから畑をお借りし、農作業を皆さんの体験の機会として、また仕事の一つとして続けてきました。10数年前からは田んぼにして餅米を作っており、田植えや稲刈りを総動員で楽しく行ってきました。田植えでは足を取られて尻餅をついて泥だらけになったり、稲刈りではやっとのことで稲を干した棒が台風で倒れてしまい、また１からやり直したりと、ほろ苦い思い出もいっぱいです。何よりの楽しみはもちろんお餅つき、大騒ぎしながらみんなでペッタン、ペッタン… 食べることが大好きな私達の一大イベントになっていました。でも、残念なことに周辺の住宅開発の影響もあり、お借りしていた田んぼをお返しすることになりました。米という字は八十八と書くほど米作りにはたくさんの手間がかかるといわれていますが、私達がやるのは田植えと稲刈りのみ、それ以外の数多くの世話をして下さったのはご近所の高林さんです。長年にわたり田んぼをお貸しいただき、お世話下さった久米滿大・喬枝ご夫妻、高林直政・禮子ご夫妻に改めて心より感謝し、御礼申し上げます。ありがとうございました!!

お米作りはなくなりましたが、他にもすぐ西側に広い畑をお借りしており、お隣の方々にご指導いただきながら旬の野菜を作っています。お陰でウイズの昼食のお味噌汁は採れたて野菜いっぱいの具沢山みそ汁で、元気いっぱい！お腹もいっぱいです。

7月と8月に2人の利用者さんが加わり、半田は現在19人と1頭、ますます賑やかでパワーアップしています。9月には地域交流会もありますので是非お立ち寄りください。うまくいけば収穫した秋野菜がお裾分けできるかもしれません!?

## 近況報告 〈ウイズ蜆塚〉

サービス管理責任者 **古橋友則**

平成20年4月に開所したウイズ蜆塚も今年で10年目を迎えました。

この間、現在までに蜆塚を利用してくださった視覚障害の方は50名を超えております。通い始める理由もそれぞれ違いますが、辞めていかれる事情もそれぞれあり、私たち職員はその方々の思いにどれだけ応えてきたか、常に自問をしながら日々の仕事に携わっております。

蜆塚は10年前に、当時の半田では十分に補えきれなかった中途視覚障害者の「居場所づくり」を一つの目的としてはじめました。ですので、就労支援施設でありながら70代、80代の方々にも利用していただき、作業を通して自信の回復や、新たなコミュニティの構築を支援してきました。しかしながら、食事、歩行、トイレ等において、現在のわれわれの体制ではどうしても十分な支援ができない重度の重複障害の方や、高齢の視覚障害の方には、次の「居場所」をご提案させていただくしかないのが現状です。

また一方で、現在の蜆塚では就労支援や、ICTを使った作業体制は整っておらず、積極的に社会参加を目指す方にとっては物足りなさを感じて辞めていかれる方もありました。

半田が開所して20年、蜆塚が開所して10年経ったいま、今後ウイズで新たにおこなっていくべき事業と課題は山積しています。

地域にある社会資源と連携し、ウイズがやるべきことと、地域社会に頼っていくべきことをよく考えながら、これから先10年の活動をどうしていくべきか、皆様の「こえ」を聞きながら歩んでいきたいと思います。

**おねがい**

ウイズ半田まで **Tシャツや肌着など 綿100%の白い無地の布**

**ウエスと布ぞうり材料の提供求む!!**

**中古着等でもかまいません。ご協力をお願いします！**

**綿100%の浴衣・手ぬぐい** ウイズ蜆塚まで

# マレーシア白杖づくり研修 ～シバさんマレーシアへゆく～

2月11日～18日、マレーシア・クアラルンプールにて白杖づくり研修、障害者福祉のレクチャーを行なってきました。そこでさまざまな出会いがあり、たくさんの驚きや喜びがありました。

協力：公益信託 東京日本橋ライオンズクラブ立川福祉基金
ウイズを支える会　盲人福祉研究会

## マレーシア滞在スケジュール

**2月11日** 中部国際空港を出発
↓
夜中にクアラルンプールに到着

**2月12日～15日**
マレーシア視覚障害者協会（SBM）にて
5人の研修生（全員視覚障害者）にレクチャー

エッ！白杖って煮て作るの？

熱湯でチューブを縮めます

自分の手で自分の白杖を作り上げます

**2月16日～17日**
マレーシア訓練センター（MAB）にて
3人の教師と2人の視覚障害者にレクチャー

現地の先生方が「難しいね」

▼ フザイファさんの運営する点字出版社訪問 ▼

15台の点字プリンターで印刷します

絵本にも点字を入れます・コーランも点字で

▶ 現地調査 ▶

点字ブロックの上にバイクの修理工場が…

今回の研修は日本の盲学校へ留学していたフザイファさん（左）とアズリンさん（右）の要請で行われました。現地では二人の通訳とガイドで大助かりでした。
ありがとう！

おいしい料理も！

ちょっぴり観光も！

**2月18日** クアラルンプール国際空港を出発
↓
無事日本に到着

おかえりなさい！

## 受講者の感想

**ザムハさん（2015年ブラインドサッカーで来日 2020年にも来たい！）**
シバさん本当にありがとう。マレーシアに初めてこの様な先生が来てくれて嬉しい。アメリカと日本・韓国だけが白杖を作ると思っていた。マレーシア製の白杖ができるといいと思う。盲人が仕事をできるようにしたい。

**キキさん**
とってもありがとう！白杖づくりだけでなく、日本の福祉の言葉、そして日本語の練習もできました。

**ワヒディさん（海岸近くで美容用の寒天を作る仕事をする事業家）**
白杖以外にも、いろいろと知りました。どうやって工夫するかを学びました。

**アルファさん（大学院生、唯一の女性）**
白杖をはじめから終わりまで作るなんて、人生の中で考えたことなかった。いつまでも忘れません。

## マレーシア こぼれ話

**①白杖歩行**
白杖は、全盲の人だけが使う。弱視者が持つと「見えてるじゃないか！」と言われる。

**②障害年金 ― 障害があっても仕事しましょう**
仕事をやっている人には、月に350RM。
（収入1,200RM以内のみ。超えるともらえない）
仕事をやっていない人には、150RM。
※RM＝リンギット約30円

**③足裏マッサージ**
マレーシアの繁華街は、ハデな足裏マッサージがいっぱい。お姉さん達が客引きで一生懸命。

**④モノレール**
主要な交通機関だが、駅は怖い！落ちやすいし深い…。アズリンと同期のメイさんが落ちて、骨折の大ケガ。

**⑤2月13日**
マレーシア3日目。北朝鮮の金正男（キムジョンナム）がクアラルンプール空港で暗殺される。マレーシアではそんなに騒いでいない。帰りは空港を軍隊が警備。

## 活躍する海外の研修生達

ダスキン研修生（新しく来日する研修生と先輩研修生）

**第 2 期生　アウンコーさん（ミャンマー）**
2007年白杖づくり講座を企画。
2016年度・第37回岩橋武夫賞を受賞。
（アジア諸国で活躍する視覚障害者に日本ライトハウスが授与）
ミャンマー視覚障害者協会会長・障害者協議会議長。

3人に、会って来ました。
（左から、ジェイビスさん、アップルさん、シャムサさん）

**第 5 期生　ナンタヌット・スワナウットさん【アップル】（タイ）**
アメリカへ留学、タイ視障団体で国際的に活躍。

**第 7 期生　シャムサ・カウンエルさん（パキスタン）**
亡くなったお母様の遺金でソフィアファンデーションを設立し、障害者の人権運動で活躍。

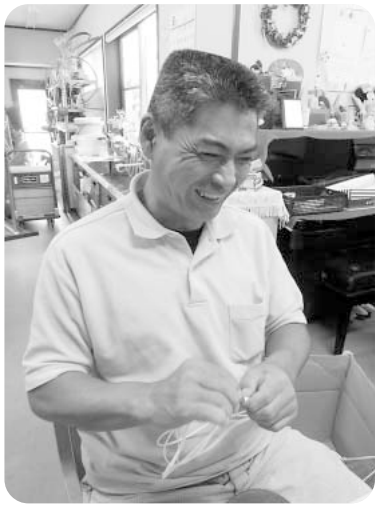
**第17期生　ジェイビスさん（ソロモン諸島）**
活動拠点づくりの為に、資金集めと障害者のラジオプログラム作り。

**第18期生　ラムダスさん（インド）**
オレンジスマイル（ブラインドテニスクラブ静岡）から寄付されたラケットとボールでテニスクラブとスポーツクラブづくりに活躍中。

**第19期生　ネパールからラクシミさん、フィジーからクリッシュさんが、来日予定。**

## ウイズに出会って

ウイズ蜆塚　利用者　**三津谷武志**



何をやっても男前な三津谷さんでーす！

昨年（平成28年）7月よりお世話になって、早や1年が経ちました。

私は以前建築現場で溶接の仕事をしていましたが、18歳の時に診断された網膜色素変性症が悪化して視野が狭くなった為、仕事を辞めざるを得ませんでした。何もする事がない、どうしていいか分からず、酒浸りの日々が続きました。医者にも「このままだと体を壊す」と言われ、何かないかと探していたところ、斯波さんと出会い、視覚障害者の集まる作業所があることを聞きました。とりあえず見学ということで行ってみることにしました。そこがウイズでした。

そこでは、色々な作業が有り、新聞を束ねるひもを切ったり、はがきを漉（す）いたり、布ぞうりを作ったりしていました。みんな明るく楽しそうに作業していたのを覚えています。そんなみんなを見て、“自分もやってみよう。もしかしたら酒を減らせるかもしれない。”そう思いウイズを利用しようと決断しました。行ってみると、みんな笑顔が絶えず、楽しく利用でき、あっという間の1年でした。ちなみにお酒はまだ止められませんが、だいぶ減りました。スタッフや利用者の皆さん、ボランティアの方々、楽しみながら頑張りたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

## 職員内部研修報告　2017.7.7(金)

研修に先立ち、斯波代表より以下のように話がありました。近代日本の障害者福祉の発展は、視覚障害者団体とヘレンケラーの来日が大きな影響をもたらしました。そして国際障害者年を経て、それまで社会が主に入所施設で“護る”という考え方から、障害のある人たちが、社会の中で当たり前の生活を「当たり前に選択し、決定する権利がある」に変わってきました。そうしたことができる社会づくりを目指し、障害のある人たちが、当たり前に生活ができるよう「権利を遂行する」、その支援をすることが職員の役割であるというウイズの指針が示されました。

午前中は、現代社会においてよくメディアで話題に取り上げられている、ハラスメント規定（主にセクシャルハラスメント、パワーハラスメント、妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメント）について、その定義や具体的行為について、八木社会保険労務士より説明がありました。私たちの身近な問題として、より安心して働きやすい環境にするために、個々が認識して言動に気を配ること、またハラスメントを受けた時の対処の仕方や相談窓口等があることを学びました。

次に、緊急時（事故、災害、感染症の発生時など）における、利用者さん、職員の安全管理について、自己評価ツールをもとに確認しましたが、職員の理解・意識にまだまだ差があるとともに、実際に災害があった場合に、職員それぞれが家庭の状況が違う中で、どこまで対応ができるのかという問題に対して、今後の重要な課題の一つであることが再確認されました。

午後は、福祉機器（補そう具、日常生活用具）について、基礎知識と用具の種類、給付（貸与）の申請の仕方、流れについて、職員一人ひとりが説明できるよう講習を受けました。実際に拡大読書器やプレックストークなどに触れ、福祉機器が日々進化していることに驚き、そうした情報発受信もウイズの重要な仕事の一つであることを改めて認識しました。

一日の研修を通して、まだまだ学ばなければならないことが多くあることを実感いたしました。

（蜆塚スタッフ　内田）

**※福祉機器等についてのお問い合わせは…**
ウイズ半田・蜆塚／盲人福祉研究会（☎053-463-2764）

## 半田日帰り旅行　お茶つめ放題＆わさび漬けつかみどり＆清水港ミニクルーズ

2017. 6. 23(金)

仲良く海の風を堪能しました…。

今回の半田の旅行は、詰めて、食べて、つかんで、船に乗って、という内容盛り沢山の旅となりました。

最初は、まるとう農園での工場見学＆お茶つめ放題です。工場見学のあと、牧之原台地一面に広がる茶畑の隣でお茶のつめ放題をやりました。楽しみにしていた昼食場所は焼津の石原水産マリンステーションです。新鮮な海の幸をお腹いっぱいいただき、そのあとお土産屋さんで買い物もたくさんしました。お腹いっぱいになったあと向かったのは刺激的な工場見学、わさび漬けで有名な田丸屋本店です。辛味体験ゾーンやわさび漬けミニカップつかみどりで盛り上がりました。旅のラストは、清水港にてミニクルーズです。オープンデッキで海風を感じながら清水港を一周しました。

皆さんから「たくさん体験することができて楽しかった」という感想がきけました。これもボランティアの皆様、ご家族の皆様のおかげです。ありがとうございました。　**（半田スタッフ　加茂）**

### ラッキーでした！

ウイズ半田　利用者　**山本　修**

6月23日、ウイズの旅行に参加しました。まるとう製茶工場でお茶が出来るまでの工場見学、お茶のつめ放題。詰め放題は袋が上手く開かず困っていたら係の人が袋をひっぱれば良いと教えてくれ、思いきり詰めたら140gも入りました。ラッキーです。

田丸屋わさび漬け工場では工場見学、そしてミニわさび漬けのつかみどり。ウイズでやり方を教わった成果は出ず、5個でした･･･。

30分間ミニクルーズは天気も良く、3階にのぼったのでとても気持ち良かったです。

盛り沢山のスケジュールで楽しんできました。

## ウイズ農園だより11

ウイズには現在2つの農園があります。1つは毎回この「農園だより」でご紹介している、ウイズ半田のすぐ隣にお借りしている畑です。

そしてもう一つ、ウイズ蜆塚で管理している畑が、施設から車で15分ほど行った富塚町にあります。以前近況報告でも少し触れましたが、こちらはもともと管理していた方がご高齢で継続できなくなったため、3年ほど前からお借りしています。幸いにも、耕運機や農具はそのままお借りでき、農業用水も引いてあり、しかも立派なハウスが2棟もあります。ちょっと素人集団には手に余る広さですが、今の時期は、トマト、ナス、ピーマン、インゲン、オクラ、ズッキーニ、キュウリ、カボチャ、落花生…と、汗と欲を出して作っております。

がんばって、いっぱいジャガイモ収穫するよー！

無農薬にこだわり、今年は佐藤牧場さんから牛糞を4トントラックで仕入れましたが、片手間作業のため草取りも間に合わない状態ですので、トマトは芋虫の宿となり、ナスは傷だらけ、ジャガイモはピンポン玉の大きさといった具合で、まだまだ利用者さんの作業収入を上げるレベルには達していません。それでも暑さにも負けず、ジャガイモの収穫やサツマイモの植え付けに汗をかくのは、施設内での作業とはまた一味違って、気持ちがいいものです。助っ人募集中です！**（蜆塚スタッフ　古橋）**

# 第23回白杖づくり体験合宿　2017. 7. 22(土)～24(月)

2年ぶりの開催となりました白杖づくり体験合宿、今年で23回目の開催となりました。今回の参加者は外部の方が5名、ウイズの利用者さんが2名、合計で7名となりました。

初日はお昼からのスタート、白杖づくりの前に斯波さんのレクチャーです。障害福祉の歴史、法律や、白杖の歴史など様々な話がありました。そのあと、いよいよ白杖づくりスタート！それぞれの身長や好みに合わせて杖の長さを決めて、材料のパイプに白いチューブをかぶせて、余ったチューブをカッターナイフで切って初日は終了です。

2日目は1日をかけての作業です。小刀や金ヤスリなど普段使うことのない道具を使います。一番手間と時間のかかる杖の継ぎ目部分(ジョイント)のすり合わせの作業ではみなさん大変苦労されていましたが、夕方には無事全員完成することが出来ました。

3日目は午前中に龍潭寺や大河ドラマ館など浜松観光をしていただき、合宿は終了となりました。

参加者の皆さん、お疲れ様でした！

**(半田スタッフ　宮本)**

厳しくも楽しい雰囲気で進みました

# 白杖づくり合宿に参加して

ウイズ半田　利用者　**石野匡信**(まさのぶ)

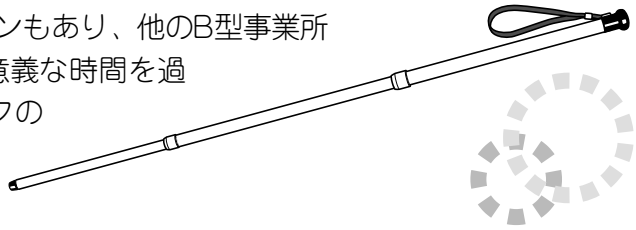
手取り足取り教えていただきました!

私は今回初めて白杖づくり体験合宿に参加させていただきました。始めに自己紹介があり、次に斯波さんより白杖の3つの役割の説明がありました。

1つ目はアンテナとして、情報・状況を把握する役割。例えば段差がある、物が置いてある、扉がある、などです。2つ目はシンボルとして、周りの人に自分が視覚障害者であることを知らせる、世の中には見えない、見えにくい人がいるということを知らせる役割です。3つ目はバンパーとして、自分の体が人や物にぶつかるのを防ぐ役割があり、自分自身で安全を確認する必要がある、と教えて頂きました。次に障害福祉の現状や法律面からのお話等々…色々教えて頂きました。

いよいよ白杖づくりに入りますが、その前に作業に使う道具の説明、そして使い方の説明があり刃物を使っての作業に進んでいきました。金ヤスリ、繰り小刀、カッターナイフ、ハサミ、リーマー、どれも危険が伴う道具で、刃先を指に当ててゆっくり削る作業が多くあり、私は怖さと緊張のあまり肩や手に力が入り過ぎ、うまく削ることが出来ませんでした。特に難しかったのがチューブをカッターナイフでカットするのと、ジョイントのすり合わせでした。削りが足りなかったり、片方に寄って削ってしまったりと、どの作業も大変でした。

休憩時間には参加者同士のコミュニケーションもあり、他のB型事業所の近況なども伺うことができ、普段と違う有意義な時間を過ごすことができました。サポート役のスタッフのお陰で世界で1つのオンリーワンの杖ができ、とても嬉しく思っております。



## 視覚障害リハビリテーション訪問記

歩行訓練士　**岩本　賢**

先日、以前歩行訓練をさせていただいたＡさんから「バス停周辺の状況が変わってしまったのだけども…」と連絡がありました。Ａさんと一緒に現地を確認すると、歩道改良工事が行われて歩道がきれいに整備されており、歩行の目印にしていた建物の壁もなくなっていました。

新しく綺麗になったバス停周辺の歩行訓練を行い、Ａさんは安心してバス停が利用できるようになりました。

最近、多くの人が利用する交差点や駅などの改良工事が行われています。今まで一人で利用していた場所も周囲の状況などが、変わってしまっていることがあります。安全に安心して移動するために、普段利用しているところでも今一度、私たちと安全確認をしてみませんか？

## *NEW FACE*

ウイズ半田　利用者　**竹内孝枝**

私は平成29年1月からウイズ半田でお世話になっています。ご縁があり、平成28年の夏頃に相談員の方に出逢うことができ、ウイズの存在を知りました。私自身の体調の事もあり、3年近くに渡り社会に出ることも、生活することもままならない私が果たして通うことができるのか、1日を過ごせるのかと、とても不安でいっぱいでした。受け入れてもらえるのか色々なことをたくさん悩み、迷いましたがこのままではいけないと、勇気をだしウイズに相談に行きました。

今年の1月から有難いことに週に1回ではありますが体調をみながら通わせていただいています。職員の皆様、利用者の皆様の寛大な心に感謝しながら過ごしています。皆さんよろしくお願いします。

## *NEW FACE*

ウイズ蜆塚　スタッフ　**丹　元希**

4月からウイズ蜆塚で勤務している丹元希（たんもとき）といいます。丹などという珍しい名字をしているせいか、蜆塚のみなさんから「どういう字を書くの？」と必ず聞かれ、いまではすっかり名前を覚えてもらい、毎日「丹さん！」と呼んでいただいています。

大学を卒業してすぐにウイズに就職した僕ですが、早くも3ヵ月が経ちました。もともとはほかの業界での就職を考えていましたが、訳あってウイズを紹介されそのまま働くことに。蜆塚では職員・利用者さんも含めて最年少です。

就職活動をしていたときには考えてもいなかった福祉の仕事ですが、日々の業務や利用者のみなさんから多くの刺激を受け、おかげさまで毎日元気に働くことができています。

蜆塚では自分よりも一回りも二回りも年上の方たちばかりで、みなさんからいろいろなことを教えていただいています。時々、世代が違いすぎて話についていけなくなるときもありますが……。それでも、元気なみなさんのおかげで毎日を楽しく過ごせています。

そんな自分ですが、少しでもみなさんの楽しみ・やりがいを見つけるお手伝いができたら、という思いで働いています。どうぞ、これからよろしくお願いいたします。

# 2017年 ～ ウイズの活動記録 ～

《2017年2月～7月》

## 2月

10日(金)～14日(火)
フラワーバレンタイン企画ガーベラ販売
(チャレンジドショップ・わ)

11日(土)～18日(土)
斯波代表マレーシア白杖づくり講座

12日(日)　長谷川きよしコンサート観賞
(清水文化会館)

21日(火)　蜆塚　もちつき＆音声映画会

## 3月

4日(土)　作業所連合会“わ”職員研修会

10日(金)　半田　もちつき

18日(土)　ぐるみ会(浜名湖ガーデンパーク)

22日(水)　支える会役員会

23日(月)　マーメイドスイミングクラブ様より寄付金とタオルの寄贈式(蜆塚にて)

25日(土)　広沢ふれあいまつりにて販売

28日(火)　蜆塚　誕生会(蜆塚遺跡公園花見・イオン浜松西店)

29日(水)　法人理事会

## 4月

2日(日)　半田　イオン幸せの黄色いレシート贈呈式
(イオン浜松市野店)

7日(金)　半田　誕生会(大河ドラマ館・雅楽之助)

10日(月)・11日(火)
イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動
(イオン浜松市野店・イオン浜松西店)

15日(土)　支える会総会(浜松市福祉交流センター)

25日(火)～5月15日(月)
ダスキン研修生ラムダスさん来所

26日(水)　蜆塚　名古屋ライトハウス職員来所

半田誕生会（浜菜坊）

## 5月

2日(火)　蜆塚　熊野の長藤見学

9日(火)　作業所連合会“わ”西部地区新任職員研修会

11日(水)　イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動
(イオン浜松市野店・イオン浜松西店)

15日(月)　法人 監査
法政大学院 坂本研究室見学

26日(金)　法人理事会・総会

29日(月)～31日(水)
蜆塚　拡大読書器展示・相談

31日(水)　蜆塚　誕生会(和食処さと・サンストリート浜北)
支える会役員会

## 6月

6日(火)　蜆塚　与進小学校交流会

6日(火)・7日(水)
半田　積志中学校福祉体験1名来所

9日(金)・10日(土)
作業所連合会“わ”西部地区職員研修会

11日(日)　蜆塚　イオン幸せの黄色いレシート贈呈式(イオン浜松西店)

23日(金)　半田　日帰り旅行(清水港ミニクルーズ・お茶つめ放題・わさび漬けつかみ取り)

## 7月

7日(金)　職員内部研修会

11日(火)　イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動
(イオン浜松市野店・イオン浜松西店)
半田　歯科検診

15日(土)　ミズモト学園建学祭にて販売

19日(水)・21日(金)　蜆塚　広沢小学校交流来所

20日(木)　半田　ミズモト学園見学来所

21日(金)　半田　誕生会(潮見坂・浜菜坊)

22日(土)～24日(月)　白杖作り体験合宿

26日(水)　支える会役員会

27日(木)　蜆塚　誕生会(イオン浜松志都呂店フードコート・買い物)

28日(金)　蜆塚　クリストファー大学より手作りベンチ寄贈式

# ありがとうございました！

## ◆ 協力者・寄付者（物品寄贈・イベント含む）平成29年2月～7月【50音順、敬称略】

アイメイト後援会・あけぼの会・阿部眞生子・㈱アマノ・飯嶋長雄・イオン浜松西店・イオン浜松市野店・池端昭男・池谷彰郎・石塚若菜・伊藤友治・井ノ上美津恵・太田恵美子・大矢悦子・岡村秀栄・小澤哲男・おのころ島・かざぐるま・笠原祥充・手作りパン工房　風曜日・加藤芳江・㈱カワイ・川合モータース・木村眞智子・金原せい子・金原モータープール・草川泰拓・久保田実知子・久保陽子・久米一豊・久米喬枝・久米満大・グリーンボックス　医大前店・元気里山・コープさんじの店・工務店 北山・小杉元久・㈱コックス・コットンギャラリー一絵・近藤冨美代・齋藤いつ江・佐々木幸弥・佐々木睦美・笹野里美・笹本俊一・佐藤暁子・塩崎静江・㈱敷島屋・斯波恵子・下奥重望・杉山実佐・鈴木栄里子・鈴木修一・鈴木のり子・鈴木昌子・鈴木真理子・鈴木美江・鈴木玲子・須部かづ子・須山芳子・聖隷クリストファー大学リハビリテーション学科・瀬上・大和リース㈱浜松営業所・高塚三枝・高橋静・高橋輝雄・高林あき子・高林直政・TAKT PROJECT・タケムラ写植・竹山きぬゑ・田中恵津子・次広功一・辻徹・鶴田満里・東海ビバレッジサービス・豊崎ホテル・富田泰寿・豊島印刷・中井喜四作・長坂養蜂場・中村愛美・中村ゆかり・夏目厚司・夏目政登・なないろカフェ・浪川光代・野末慶子・野末孝夫・野寄元詠・長谷川順子・浜名シスコム・浜松花蝶ちん・早川奈美江・平野二郎・福永貞己・藤島クリニック・藤田大介・古橋博商店・ボーイスカウト浜松24団・細田とみ子・本間良子・マーメイドスイミングクラブ・松井敬子・まつぼっくり・㈱ミカド・水野昇・三輪清・盲人福祉研究会・杢屋健一・八木田竹之・八木田洋子・八木良和・山崎三郎・山本明子・山本智・吉山昌子・リベロマム蜆塚店・半田、蜆塚地域の皆様・匿名の皆様

### 応援ありがとうございます!!
### イオン　幸せの黄色いレシートキャンペーン 2016年度分

一年間のイエローレシートから、
１％の還元分をギフトカードとして、
イオン浜松市野店様、イオン浜松西店様から
下記の助成をいただきました事をご報告します。

●ウイズ半田　ギフトカード　42,400円分
（贈呈品目…デジカメ・USBフラッシュメモリ・血圧計など）

●ウイズ蜆塚　ギフトカード　34,100円分
（贈呈品目…電動ポット・壁掛け扇風機3台・樹脂製お箸）

今後も毎月11日に両店でお買い物の際には、ウイズのボックスにご投函をお願いします。

木のぬくもりが感じられ、リラックスできます！

聖隷クリストファー大学
リハビリテーション学科の皆さんから

**手作りの木製ベンチをいただきました！**

◆出前授業、実習の学校・団体◆
新津小学校・与進小学校・初生小学校・蒲小学校・積志中学校・
浜松視覚特別支援学校・浜松西部特別支援学校・浜松修学舎中・高等学校・
浜松医療福祉専門学校・ミズモト学園・静岡文化芸術大学・常葉大学・
聖隷クリストファー大学・静岡医療福祉専門学校・国際視覚障害者援護協会・
ダスキンアジア太平洋障害者リーダー育成事業

「ウイズレター音声版」できました！

with voice

あけぼの会様のご協力により音声版でも発行しております。ご希望の方はウイズまで連絡下さい。

# ありがとうございました！

## ◆「ウイズを支える会」会費納入者・寄付者　平成29年2月～7月【50音順、敬称略】

NPO法人 トータルケアセンター・㈱ステラ　毛涯弘子・㈲ウェルハート・㈲キタジマ倉庫　北島功・㈲山下義男商店・TGコンサルタント・相川智慧子・青野友巳・静江・赤嶺正雄・秋山昌也・秋山礼子・浅井秀一・浅岡晃司・浅風佳子・渥美秀・天沼えり子・天野光造・荒井昇・荒木美穂・飯尾祐輔・井熊勝年・伊熊牧治・池川禮子・池田智子・池田直子・池谷雅子・石川勝美・石野匡信・石山均・市川健悟・まり子・市川太久一・伊藤友治・伊藤米子・伊藤理行・美恵子・井ノ上美津恵・医療法人社団　青島眼科　青島周明・医療法人社団　正徳会　坂尾正・岩井一哲・岩上義則・岩瀬百合枝・岩波尚平・久子・岩本賢・上田堅一・薄井捷・内田祷子・裕子・内田稔・内田美代子・内山隆司・梅原慈香・海野隆子・江﨑玲子・恵美三紀子・大内和子・大垣点訳グループ　愛盲会・大胡田裕・大関多恵子・太田恵美子・太田久美子・大谷隆・大橋三恵子・大村浩資・大矢悦子・大屋智代・岡井千春・岡田みゆき・小川あい子・小川真樹・奥田頼春・小倉裕二・小野里美・博子・小野俊己・万亀子・海平屋　金山貞子・笠井哲夫・笠原桂子・嘉代廸子・賀波澤夏江・金谷淳子・上島淨志・和子・神谷紀枝・神谷博・亀田美津子・加茂礼香・カレー処　ヤサカ・河合輝浩・河合八重子・川島まつゑ・河相洌・川田忍・川本康子・哲也・木俣動物病院・木村眞智子・桐山啓子・金原せい子・弘明・久米一豊・久米滿大・倉橋祐子・桑原マロミ・小金井紀子・小杉元久・孝枝・和馬・後藤敬一・後藤信善・後藤淑子・古山潤・近藤啓子・近藤良夫・斉藤国夫・斉藤健二・齋藤修司・坂井兵吉・佐々木幸弥・睦美・佐藤薫・暁子・昌志・佐藤三四二・沢藤孝則・純・下奥重望・斯波千秋・恵子・柴田幸次・柴田文雄・柴山利行・島田江津子・島津祐策・信博・四村江美子・白柳夫次子・菅沼直哉・杉浦逸雄・杉浦宏江・杉本和義・杉山幸子・杉山雅章・杉山実佐・鈴木あさ子・鈴木和代・鈴木修一・鈴木千緒・鈴木ちよ・鈴木利勝・鈴木淑子・鈴木昌子・鈴木由美子・砂子瑛子・須山訓子・芹沢悟・良江・相馬みえ子・高尾信安・高貝亮・高木功・ひで子・高木かず江・高田裕一・高塚三枝・高橋理・高橋静・高橋秀郎・高林あき子・高林一・高屋心子・瀧島美惠子・田中滋明・田中徹二・勅使千鶴・坪井千里・鶴見保幸・寺田みほ・土居由知・NPO法人 てのひら・富田泰寿・豊島印刷・豊田一仁・豊田恵子・中王子照美・中王子みのり・長坂月子・中澤美千代・中島圭子・中村忠司・中村美惠子・中安正久・中山紘洲・百鬼鏡子・名倉良一郎・夏目政登・享子・名畑哲郎・浪川光代・西沢貢・光・野末あけみ・野末慶子・野田昌弘・袴田孝枝・萩原初江・服部彰・服部タエ・濵愛里・浜松手をつなぐ育成会・林尚子・疋野幹男・平野二郎・平山朋子・福元辰雄・藤江一成・藤森秀一・藤原良雄・古田賢二郎・古橋篤子・古橋友則・保科和子・細田とみ子・松井明子・松井章・敬子・亮・松浦陽子・松木重樹・松下信雄・松田信治・松田尚子・マツダペインクリニック　松田功・明子・松本一男・松本かつ江・松本昇・南澤満雄・宮分実・宮本賢介・村上節子・村木節子・村木弘子・村松芳容・寛子・茂木幹央・望月弘子・望月良昭・清美・森順子・森永美智子・安富廣美・柳澤朋秀・山崎三郎・山城ミナミ・山添和夫・山中章喜・山中道子・山本英毅・山本文章・明子・修・智・吉山昌子・芙由実・米山志保子・若槻育子・渡邊美輝子

## 編集後記

いつも内容盛りだくさんのウイズレター、みなさんに喜んで読んでいただいている、と信じたいところですが、「内容が固い」などのありがたくも厳しいご意見を頂くことがあるのも事実です。文章の内容自体は編集担当で変える事はできませんが、それ以外のところでもう少し遊び心を出していこうかと思い、今回少～しばかり遊んでみましたが、いかがでしょうか･･･？

（半田スタッフ 宮本）

## お祭りのご案内

9月17日（日）半田地域交流会
10月29日（日）蜆塚福祉まつり

開催します！皆様お越しください！
※当日お手伝い下さるボランティアさん募集中です！

2500

※掲載した写真はご本人様の許可を得て使用しております。